

人権講話 <その2>

11月16日(金)全校朝会

皆さんは「人権」ってどんなことか分かりますか。6年生は親子で人権教育出前講座を受け、人権について詳しく学習したばかりだからよく分かっていますね。



人権とは、「すべての人が幸せになるためにもっている権利」のことです。校長先生は、今幸せに生きています。これからも幸せに生きていたいと思っています。皆さんも幸せに生きていたいと思っています。家では家族と一緒に平穏に暮らしていますよね。学校でも、多くの友達や先生方と楽しく生活していると思います。皆さんは幸せになりたいという願いをもち、たくさんの人とかかわりながら、一生懸命生きています。その願いを邪魔することは、だれにも絶対に許されないので。

そこで、今日は皆さんが相生小学校の生活で幸せに生きるためにとても大切なことを話します。12日のありがとう集会は、日頃皆さんがお世話になっている11名のお客さんを招いて、感謝の気持ちを歌や踊り、プレゼントなどでお届けしました。お客さん方は、とても喜んでくださり、幸せな時間を皆さんと一緒に過ごせたと思います。皆さんがお客さんのために一生懸命に準備をしたり練習をしたりしてきたことが、お客さんにもしっかりと伝わったから、目がうるうるするほど嬉しくて幸せだったのです。皆さんは、相手のために思ってがんばることができました。皆さんはとても温かい心をもっています。お客さんからいただいたお礼の言葉からも、そのことがよく分かりました。クラスの中でも一緒にです。友達のことを大切に考え、相手意識をもって行動することを、あいおいっ子全員がやってくれば、きっと皆さん自身も幸せに学校生活がおくれると思います。

画面を見てください。何て書いてありますか？ この「思いやりの心」の習字は、校長室に飾ってあります。あいおいっ子みんなが、優しい心、温かい心で友達とかかわり、学校生活を送ってほしいという願いを込めて書かれたものです。クラスで、出歩いたり騒いだりして授業の邪魔をしている人はいませんか。友達をばかにしたり、怒鳴ったりしている人はいませんか。ぶったり、けったりして、友達に痛い思いをさせている人はいませんか。「自分がされて嫌なことは、絶対に人にしない」自分だけが幸せになるのではなく、友達の幸せを考えて行動をすることが、自分自身が相生小学校で幸せに生きることに繋がります。そして、みんなの「学ぶ権利」「楽しく学校生活を送る権利」を守ることになるのです。みんなが幸せになるために、「思いやりの心」をもって、自分とみんなを大切にしてください。

最後に、昨年度桐生市の人権啓発標語で最優秀に選ばれたあいおいっ子の作品をふたつみんなで読んで、まとめたいと思います。ひとつ目は、4年生のO・Nさんの標語です。校長先生が読みますので、皆さんも続いて読んでください。

「わけあおう えがおのたねと やさしさを」

ふたつ目は、6年生のK・Mさんの標語です。

「つくろうよ みんなが入れる 仲間の輪」

思いやりがあふれる相生小学校を、みんなで力を合わせてつくっていきましょう。

